FUJILLOY
富士ダイス株式会社

東証プライム（6167）

2027年3月期第1四半期 決算補足説明資料

2026年8月31日

人と素材と技術の力で「感動体験」を。



EXECUTIVE SUMMARY

	概要	ポイント
2027年3月期 1Q業績	●**売上高　：5,051百万円** （前期比＋22.4%） ●**営業利益：　618百万円** （前期比+252.4%） **売上・各段階利益ともに前期比で増加**	• 売上高は、海外市場において原材料高騰に伴う価格転嫁が進んだ結果、前期比で増加 • 営業利益は、原価計算に総平均法を採用していることにより１Qの製造原価への影響が抑えられていること、外注加工費、電力燃料費、修繕費等の費用減少、海外子会社の業績への寄与等により、前期比で増加
2027年3月期 業績予想 （8/7修正開示）	●**売上高　：24,400百万円** （前期比＋39.9%、前回予想比▲6.2%） ●**営業利益：　840百万円** （前期比+2.1%、前回予想比+20.0%）	• 1Qの進捗を踏まえ、5/15に開示した「中期経営計画2026」の最終年度である2027年3月期の計画値を修正 • 売上高は、国内において価格転嫁の影響により販売数量が当初の想定以上に減少していることから、下方修正 • 営業利益は、価格転嫁の進展や上期におけるリサイクル原料の効率利用による原材料費の低減により、上方修正

経営環境

■ 2025年11月以降、中国政府による日本向けのタンスグテンの輸出許可が出ておらず、国内の原料メーカーからの供給量も2025年の7割～8割程度にとどまっている
■ タングステン価格の指標となる中間原料のパラタングステン酸アンモニウム（APT）価格は、中国政府による輸出管理強化前の10キロ当たり300ドルから、今年4月には3,000ドルへと10倍に高騰、需給ひっ迫を背景に高値が継続する見通し
⇒ タングステンの需給や価格が影響を受けやすい状況が依然として続いている

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

TOPICS①

ダイジェット工業株式会社と重要鉱物であるタングステンとコバルトの使用量を削減した合金に関する業務提携契約を締結（6/26開示）

ダイジェット工業と、各々が開発した重要鉱物であるタングステンとコバルトの使用量を削減した合金に関して、両社の販売ネットワークを活用した販路拡大に向けた業務提携契約を締結

DIJET

【サーメタル】
タングステンとコバルトを使用しない合金

使用用途：
絞り型・粉末成形金型
耐熱用治具



×



FUJILLOY

【サステロイ STN30】
タングステンとコバルトの使用量を90%削減した合金

使用用途：
回転工具・混錬工具

- **第1弾として、当社がダイジェット工業製サーメタルの提供を受け、工具・金型向け販売を展開、両社の販売ネットワークを活用した販路拡大を推進**
- **第2弾として、当社製サステロイについても、両社販売網を活用した販路拡大に向けた検討を進める予定**

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

TOPICS②

海外事業本部と営業本部を「営業本部」に統合（8/7開示）

当社を取り巻く環境の変化に迅速に対応するため、国内外の営業情報を集約、限りある原材料を有効活用し、グローバルな視点で重点エリア・分野を対象とした販売戦略を推進すべく、営業機能を一元化

これまでの体制

海外事業本部
- 海外市場開拓
- 販売戦略立案
- 顧客対応
  など

連携

営業本部
- 国内市場開拓
- 販売戦略立案
- 顧客対応
  など

統合

2026年
10月1日付

新体制（営業機能の一元化）

営業本部

- 国内外の営業情報を一元化
- グローバルな視点での販売戦略を立案
- 変化する環境に迅速・柔軟に対応
- 次世代を担う人財を育成

環境変化に対応できる営業体制を構築、市場・資源動向を考慮した対応力を強化

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

AGENDA

1. 2027年3月期第1四半期 業績概要 P.05

2. 2027年3月期 業績予想 P.10

3. APPENDIX P.16

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

01

2027年3月期第1四半期 業績概要

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

2027年3月期１Q 連結業績総括

連結売上高　　5,051百万円（前期比+22.4%）

連結営業利益　　618百万円（前期比+252.4%）

- **売上高は、海外市場において原材料高騰に伴う価格転嫁が進んだ結果、前期比で増加**
- **営業利益は、原価計算に総平均法を採用していることから原材料費高騰の１Qの製造原価への影響が抑えられていること、外注加工費、電力燃料費、修繕費等の費用減少、海外子会社の業績への寄与等により、前期比で増加**

売上高	増加要因	■ 高圧機器関連の販売が好調 ■ 電池関連金型、マグネット関連金型、超硬素材における原材料高騰分の販売価格への反映 ■ 引抜鋼管、混錬工具等の販売が好調
	減少要因	■ 国内における価格転嫁に伴う販売数量の減少
利益	増加要因	■ 売上高の増加 ■ 原価計算に総平均法の採用による１Qの製造原価低減 ■ 外注加工費、電力燃料費、修繕費等の費用減少
	減少要因	■ 原材料価格の高騰

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

2027年3月期１Q 連結業績サマリー

- 売上・各段階利益ともに前期比で増加
- メインの超硬合金製工具・金型は現時点では、一部受注量を調整しているものの、全体としてはおおむね計画通り生産・出荷を実施
- 銅タングステン合金の受注を一時的に見合わせ

（単位：百万円）	2026年3月期 1Q実績	2027年3月期 1Q実績	前期比増減率	2027年3月期 業績予想	業績予想 進捗率
売上高	4,125	**5,051**	22.4%	24,400	20.7%
営業利益	175	**618**	252.4%	840	73.7%
（営業利益率）	(4.3%)	(12.3%)	(187.8%)		
経常利益	164	**632**	284.0%	920	68.8%
（経常利益率）	(4.0%)	(12.5%)	(213.6%)		
親会社株主に帰属する四半期・当期純利益	122	**442**	260.2%	620	71.4%
(四半期・当期純利益率)	(3.0%)	(12.5%)	(320.6%)		
1株当たり四半期・当期純利益	6.18円	**22.61円**	265.9%	31.67円	-
自己資本比率	79.6%	**78.4%**	1.2%		

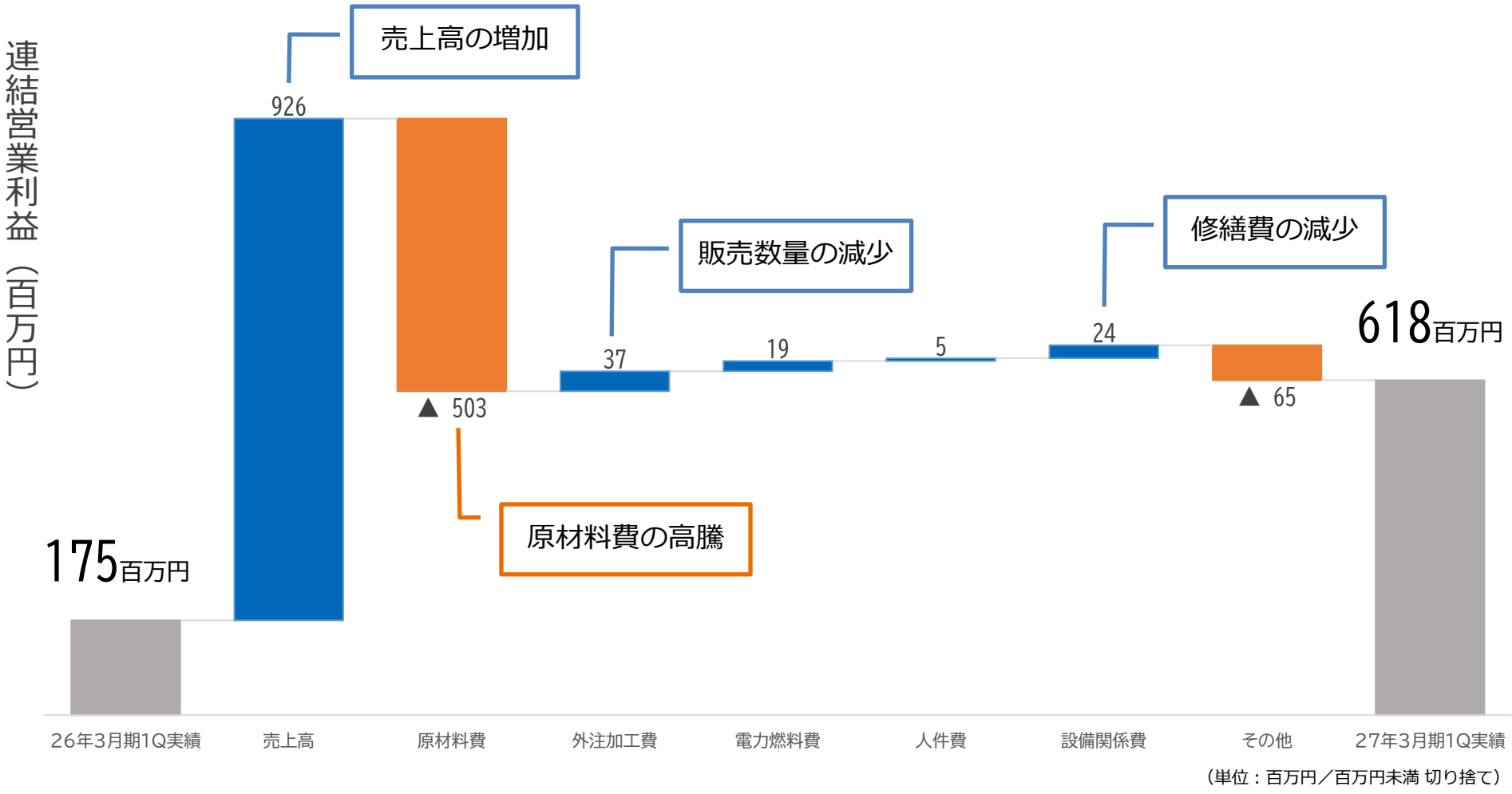
（百万円未満 切り捨て）

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

2027年3月期１Q 連結営業利益 増減要因（前期比）

営業利益

営業利益は、原価計算に総平均法を採用していることから原材料費高騰の１Qの製造原価への影響が抑えられていること、外注加工費、電力燃料費、修繕費等の費用減少、海外子会社の業績への寄与等により、前期比で増加



（単位：百万円／百万円未満 切り捨て）

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

2027年3月期１Q 財務の状況 連結貸借対照表 増減分析

- 原材料価格高騰に伴う支出の増加により、現金及び預金が2,154百万円減少したものの、原材料及び貯蔵品が1,002百万円、仕掛品が677百万円増加したことにより、流動資産は96百万円増加
- 建物及び構築物（純額）が82百万円、繰延税金資産が37百万円、建設仮勘定が29百万円減少したものの、投資有価証券が183百万円増加したことにより、固定資産は5百万円増加

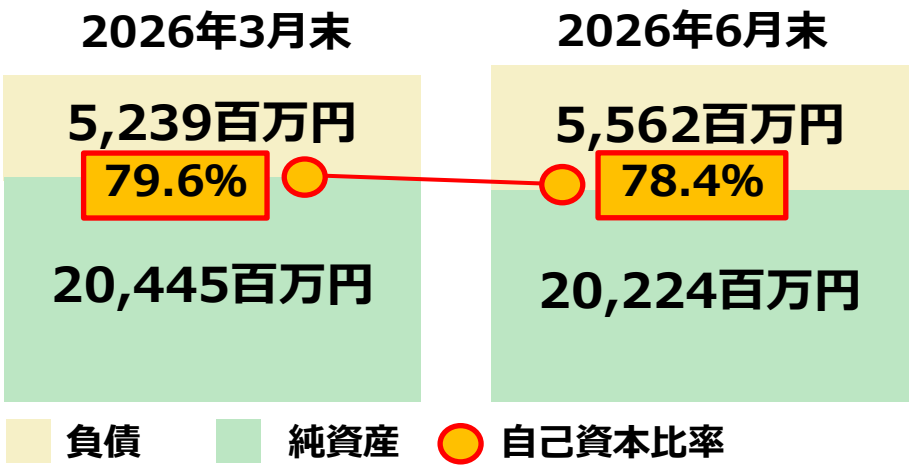
財務状況

2026年6月末　※（　）は2026年3月末との差

資産	負債
25,786百万円 (102百万円)	5,562百万円 (323百万円)
	純資産 20,224百万円 (-221百万円)

単位：百万円	2026年3月末	2026年6月末
流動資産	15,070	15,167
固定資産	10,613	10,619
資産合計	25,684	25,786
流動負債	3,885	4,186
固定負債	1,353	1,376
負債合計	5,239	5,562
純資産合計	20,445	20,224

負債・純資産・自己資本比率



現金及び預金	4,975百万円
原材料及び貯蔵品	2,848百万円
仕掛品	2,575百万円
建物及び構築物（純額）	4,349百万円
短期借入金	-百万円
長期借入金	-百万円
退職給付に係る負債	1,329百万円
利益剰余金	19,123百万円
その他包括利益累計額	1,267百万円

（百万円未満 切り捨て、自己資本比率は小数点第２位を四捨五入）

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

02

2027年3月期 業績予想

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

2027年３月期２Q連結業績予想の修正

■ 売上高を下方修正

海外市場では原材料の高騰を受けた価格改定効果により売上高が当初想定を上回って推移している一方、国内市場では価格改定の反映が当初想定より遅れていることや、価格転嫁の影響により販売数量が当初想定以上に減少していることから、売上高は前回発表予想を下回る見通し

■ 各段階利益を上方修正

- ■ 原価計算に総平均法を採用していることやリサイクル原料の効率的な活用により、タングステン価格高騰による製造原価への影響が当初想定を下回る見込み
- ■ 修繕費等が想定を下回って推移する見込みであることや、国内に先行して価格改定が進展した海外市場での増収効果により、各段階利益は前回発表予想を上回る見通し

（単位：百万円）	売　上　高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
前回発表予想(Ａ)	12,000	390	420	280	14.30円
今回発表予想(Ｂ)	11,200	930	960	670	34.22円
増減額(Ｂ-Ａ)	△800	540	540	390	
増減率	△6.7%	38.5%	28.6%	39.3%	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2026年３月期第２四半期)	8,417	322	306	196	9.88円

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

2027年３月期通期連結業績予想の修正

■ 売上高を下方修正

海外市場では原材料の高騰を受けた価格改定効果により売上高が当初想定を上回って推移している一方、国内市場では価格改定の反映が当初想定より遅れていることや、価格転嫁の影響により販売数量が当初想定以上に減少していることから、売上高は前回発表予想を下回る見通し

■ 各段階利益を上方修正

通期の各段階利益は前回発表予想を上回る見込みであるが、タングステン価格高騰の影響が下期にかけて製造原価へ段階的に反映される見込みであることに加え、原材料調達施策の効果については不透明なため業績予想に織り込まず保守的に算定していることから、下期の各段階利益は中間期予想を下回る見込み

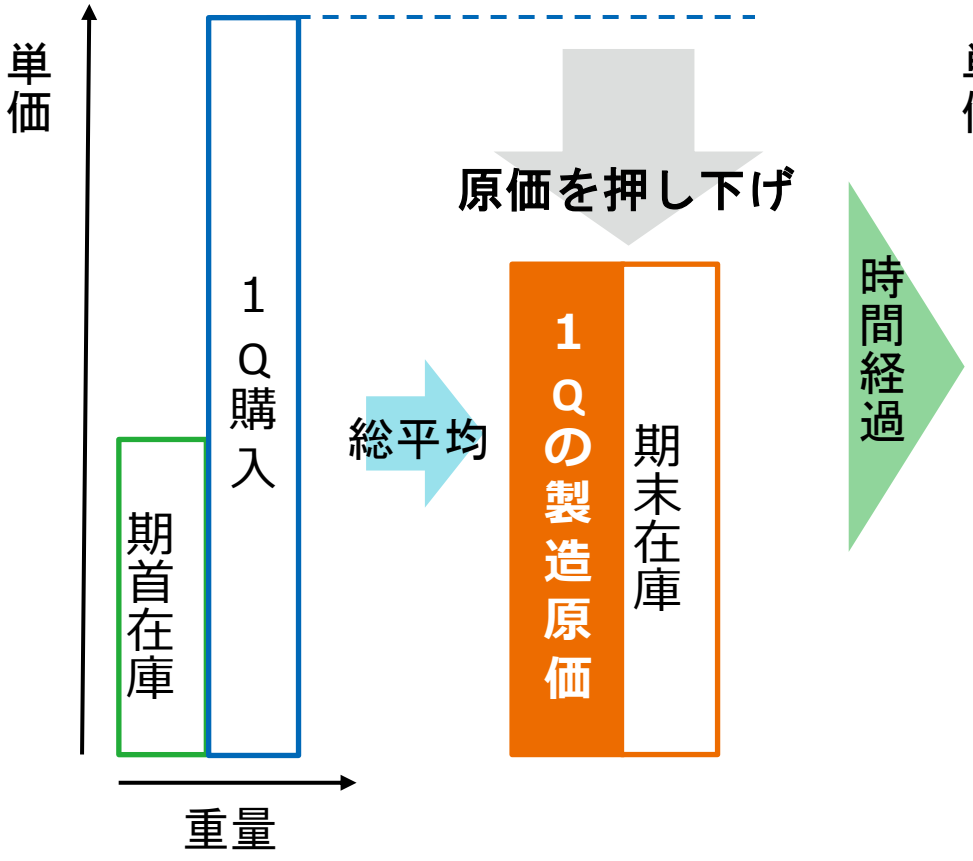
（単位：百万円）	売　上　高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想(Ａ)	26,000	700	780	520	26.56円
今回発表予想(Ｂ)	24,400	840	920	620	31.67円
増減額(Ｂ-Ａ)	△1,600	140	140	100	
増減率	△6.2%	20.0%	17.9%	19.2%	
(ご参考) 前期実績 (2026年３月期)	17,446	822	883	573	29.03円

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

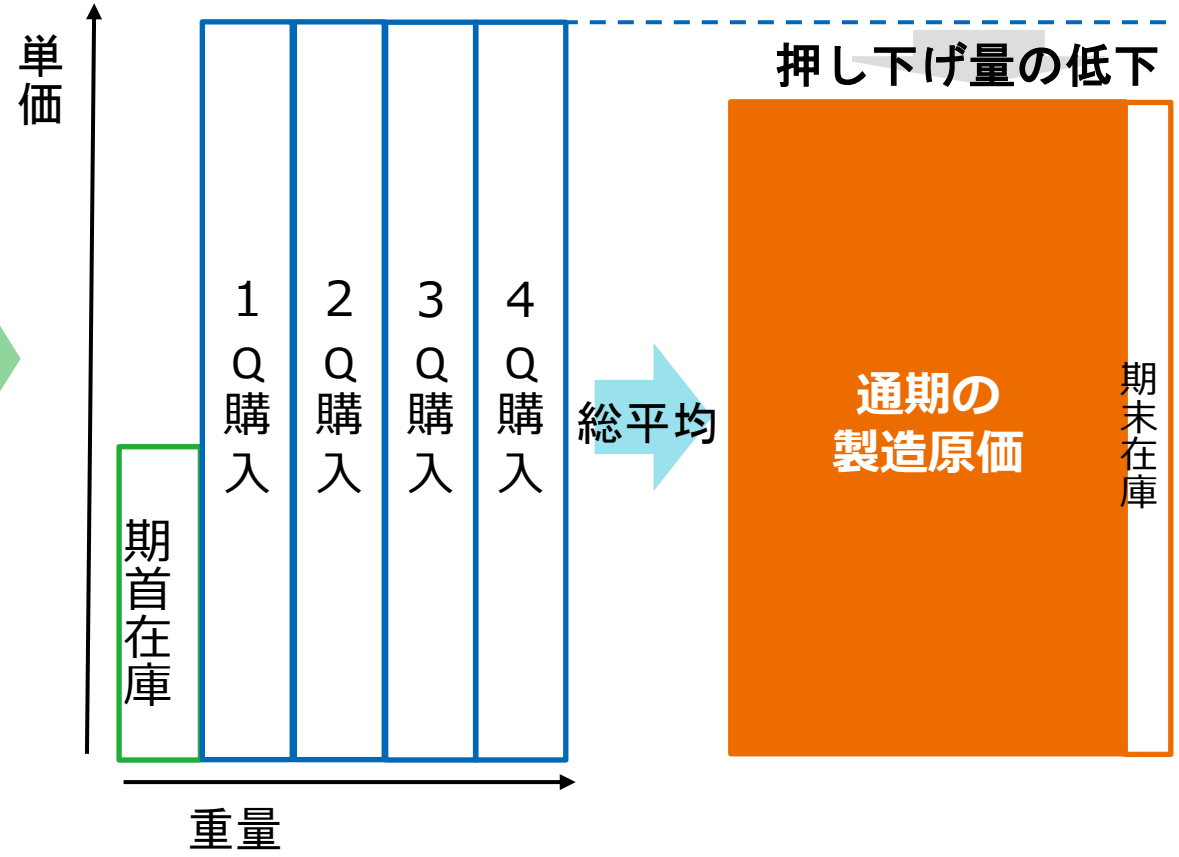
原材料高騰の影響が段階的に製造原価へ反映されるイメージ図

総平均法：保有する原材料の取得価格を平均化して原価を算出する方法
１Q時点では期首在庫の割合が多いため、総平均で製造原価を押し下げるが、
通期では期首在庫の割合が少なくなるため、製造原価の押し下げ量が低下する

【１Q時点の総平均法による製造原価】



【通期の総平均法による製造原価】



© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

2027年３月期　業績見通しサマリー

（単位：百万円）	2026年3月期 実績	2027年3月期 ２Q業績予想	2027年３月期 業績予想	期末における 前期比増減	期末における 前期比増減率
売上高	**17,446**	**11,200**	**24,400**	**6,953**	**39.9%**
営業利益	**822**	**930**	**840**	**17**	**2.1%**
（営業利益率）	(4.7%)	(8.3%)	(3.4%)	(-1.3%)	
経常利益	**883**	**960**	**920**	**36**	**4.1%**
（経常利益率）	(5.1%)	(8.6%)	(3.8%)	(-1.3%)	
親会社株主に帰属する 四半期/当期純利益	**573**	**670**	**620**	**46**	**8.1%**
1株当たり 当期純利益	**29.03円**	**34.22円**	**31.67円**	**2.64円**	-
一株当たり配当額	**40.0円**	-	**40.0円**	**0円**	-
DOE	**3.8%**	-	**4.0%**	**0.2%**	-

【2027年3月期　利益予想の前提条件】
①APT(パラタングステン酸アンモニウム）価格：3,058ドル/10kg　②為替：160円/米ドル

（百万円未満 切り捨て）

※業績見通しはタングステン価格の変動や価格転嫁の影響など、不確定要素が大きく、変動する可能性あり

ダイジェット工業株式会社との業務提携を含めた省タングステン製品の開発・拡販や、原材料の安定調達に向けたリサイクル事業の強化、調達先の複線化等の施策を引き続き推進し、原材料高騰による影響の抑制に努めるとともに、インド市場やデータセンターなどの成長エリア・分野に向けた拡販を図る

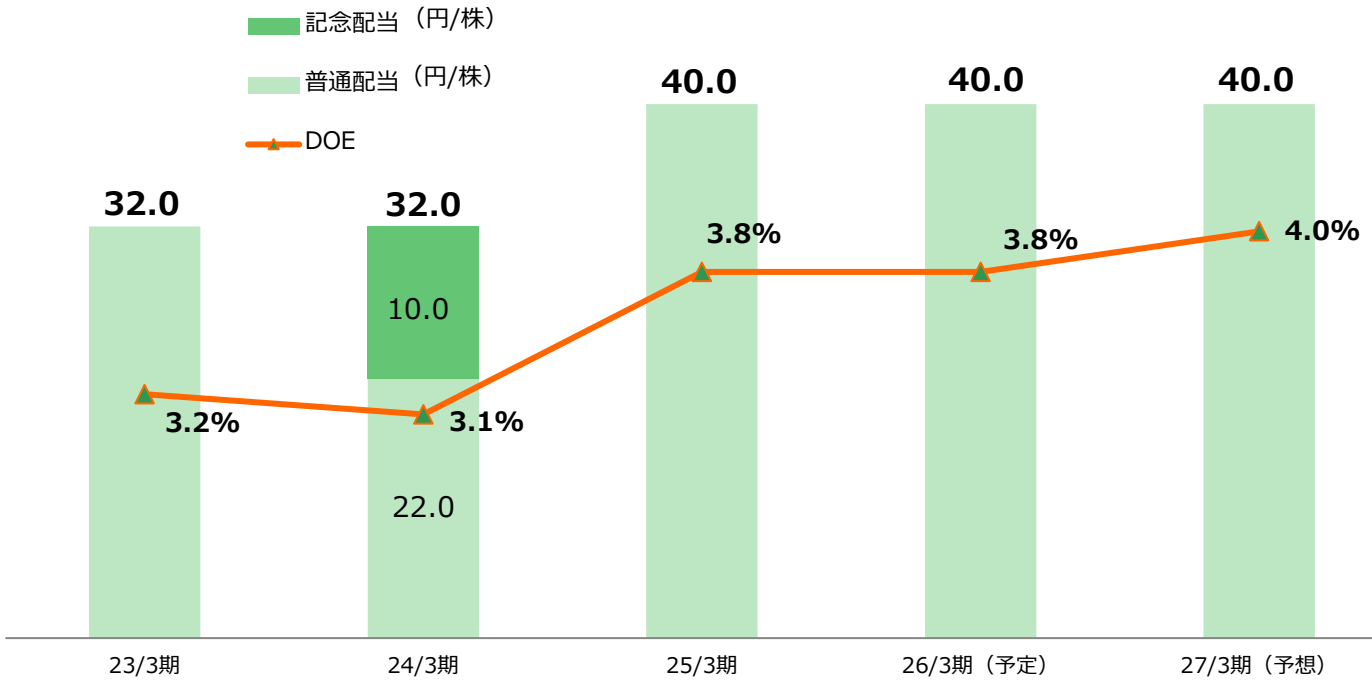
© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

2027年3月期 株主還元・配当

2027年３月期は1株当たり40円を計画

年間配当金
40円

- **2027年3月期までの中期経営計画期間中は、配当の基準を従来の配当性向から株主資本配当率（DOE）に変更するとともにDOEの目標値を４%目途に変更**
- **2027年３月期の配当は前期の配当と同額の一株当たり40円を計画**



※2026年3月期末配当は、当社第70回定時株主総会の承認を得た場合の1株当たりの配当金となります。

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

05

APPENDIX

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

会社概要（2026年8月現在）

商号	冨士ダイス株式会社
所在地	東京都大田区下丸子二丁目17番10号
資本金	164百万円
代表者	代表取締役会長　春田　善和 代表取締役社長　津田　雅宣
創業	1949年6月
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場（証券コード：6167 [業種：機械] ） 2015年６月東証二部に上場、2017年４月東証一部に市場変更
事業目的	超硬合金製の耐摩耗工具・金型の製造販売
連結子会社	新和ダイス株式会社 冨士シャフト株式会社 FUJILLOY (THAILAND) CO., LTD. 富士模具貿易（上海）有限公司 PT. FUJILLOY INDONESIA FUJILLOY INDIA PRIVATE LIMITED FUJILLOY MALAYSIA SDN. BHD.
従業員数	1,078名（2026年3月期末時点、連結）



© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

当社の特長

超硬耐摩耗工具市場でトップシェア

国内超硬耐摩耗工具業界では当社は長期に亘り、トップシェアを堅持

多品種少量の高付加価値製品の販売が主で、販売価格は安定して推移

業界シェア
30%以上

長期的成長を担う高い素材開発力×加工技術力

粉末冶金技術を活かし、市場ニーズに応える新材料の開発力

新鋭設備研究と加工方法の最適化による匠の技と最新テクノロジーの融合

コア技術
・粉末冶金技術
・超精密加工技術

開発力-技術力-営業力が競争力の源泉

お客さまの個別ニーズをカスタマイズできる直販体制

幅広い業種との安定かつ多くのお客さまとの取引実績

設計から原料粉末の調製、焼結、機械加工、製品検査までの一貫生産体制

取引社数
約3,000社
（グループ連結）

財務基盤：黒字経営を継続し、高い自己資本比率を維持

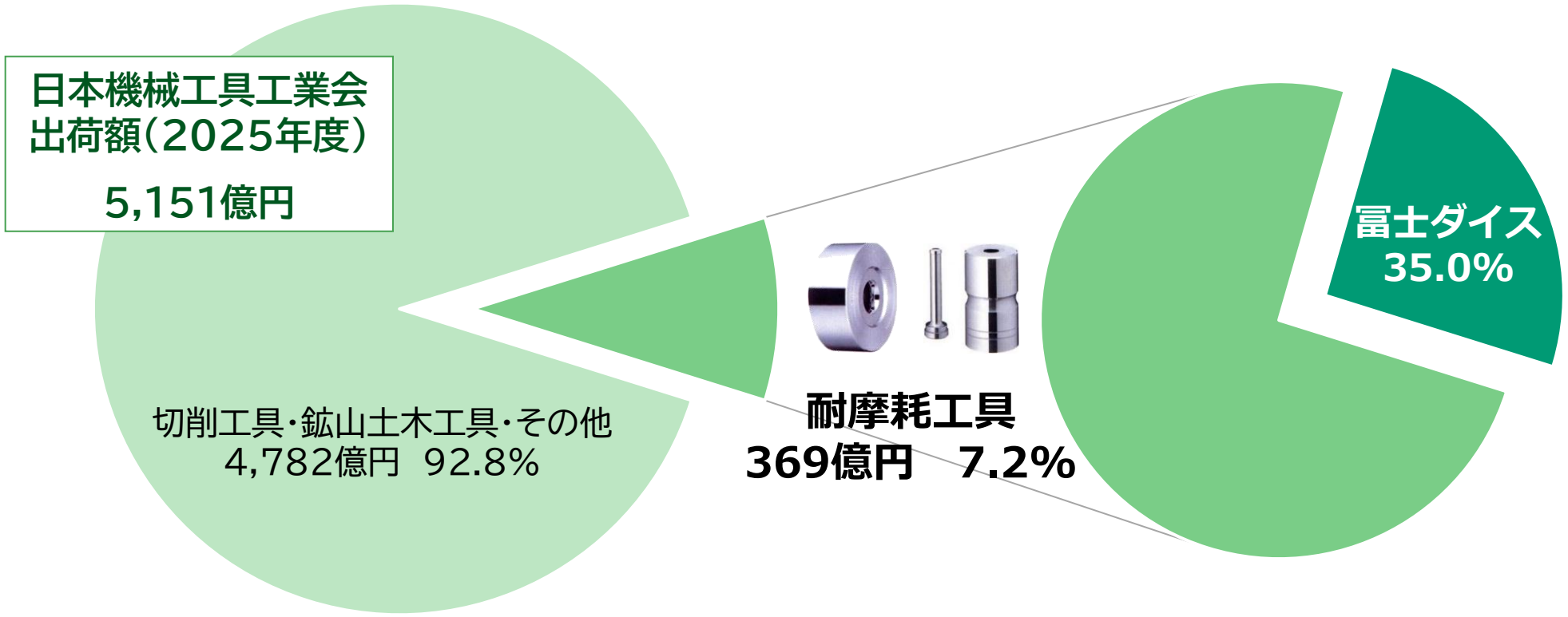
ネットキャッシュ	7,107百万円
フリーキャッシュフロー	436百万円

（2026年3月末・百万円未満 切り捨て）

自己資本比率
78.4%
（2026年6月末時点）

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

超硬工具の国内市場規模（日本機械工具工業会調べ）



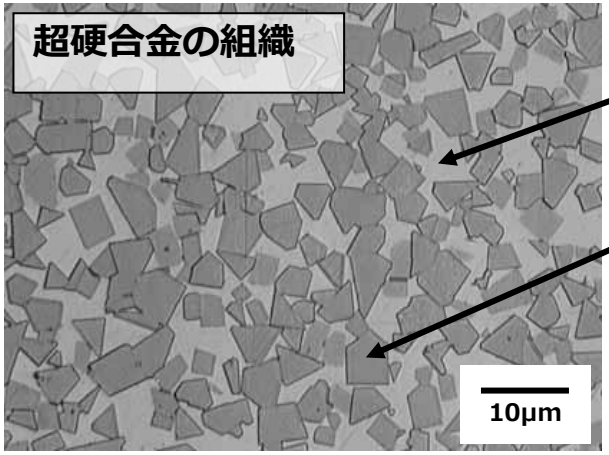
耐摩耗工具において、長年に亘ってトップシェアを堅持

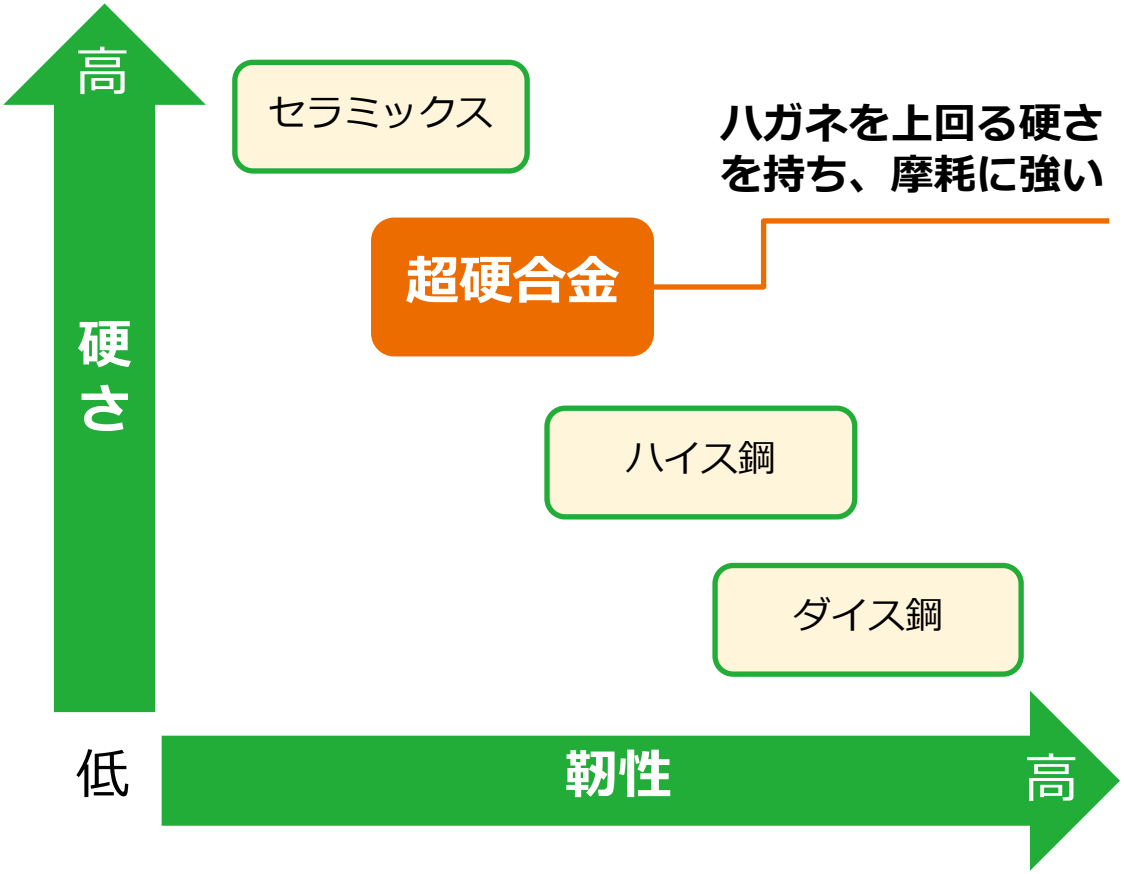
当社の超硬工具の売上　　129億円（117億円/2024年度）

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

超硬合金とは

- 炭化タングステンなどの**硬質炭化物**とコバルトなどの**金属**を組み合わせた**金属材料**
- ステンレスや鋼鉄を凌ぐ**硬さ**を誇り、**圧縮強さ**、**耐摩耗性**に優れる
- **変形しにくく**、高い精度が求められる**金型**や**工具の材料**として適している
- 金属の粉末を型に入れ圧縮して成型し、融点より低い温度で長時間焼いて固める
  「粉末冶金法」で製造される



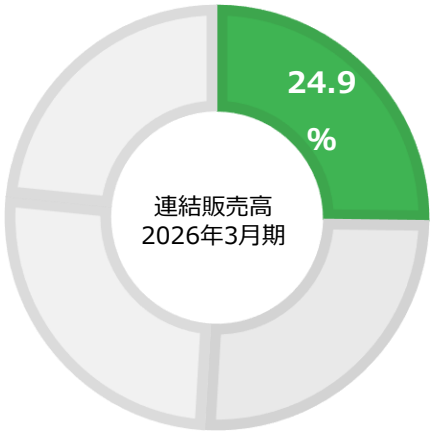


© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

事業内容　製品区分

■ 超硬合金製を中心とした工具・金型（耐摩耗工具）製造に特化

超硬製工具類

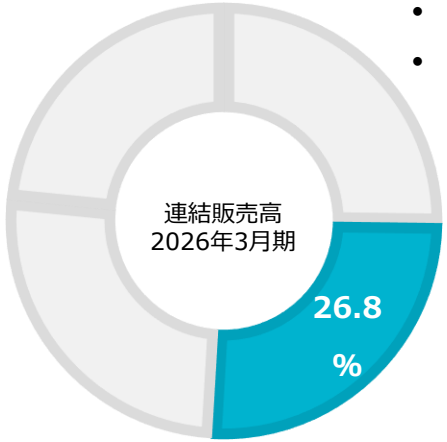


- ダイス、プラグ
- 溝付きプラグ
- 熱間圧延ロール
- 超高圧発生用工具　等





超硬製金型類



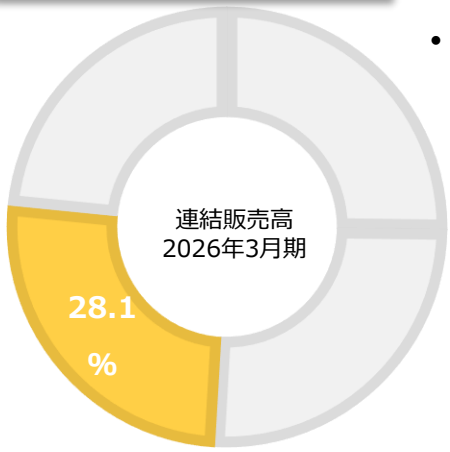
- 自動車部品製造用
- 製缶用
- 電池関連用　等







その他の超硬製品



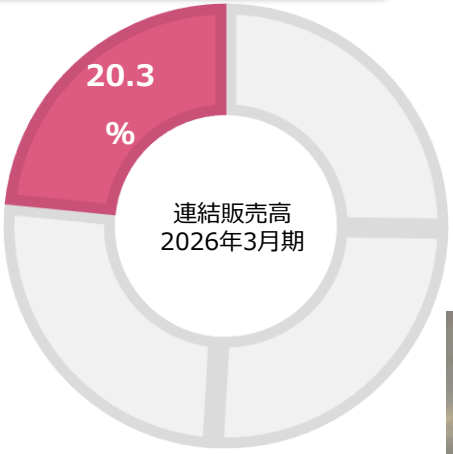
- 超硬合金素材
- 半導体製造装置用部品　等







超硬以外



- 鋼製品
- KF2製品
- セラミックス製品
- ダイヤモンド研削砥石
- FHR製品
- 銅タン
- NFメタル
- 引抜鋼管　等







© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

高い評価を受ける技術力

日本機械工具工業会賞において「技術功績大賞」および「環境特別賞」を受賞



【技術功績大賞】



【環境特別賞】

- 日本機械工具工業会主催の「2023年度日本機械工具工業会賞」において、当社の**「高熱膨張ガラス成形金型用新硬質材料の開発」が「技術功績大賞」を受賞**
- さらに、当社の近年の**廃棄物削減、再資源化率の向上の取り組みが評価され、「環境特別賞」を同時に受賞**

2025年超モノづくり部品大賞「生活・社会課題ソリューション関連部品賞」を受賞

超モノづくり部品大賞



【受賞製品】電気化学反応用金属空気二次電池用触媒・電極(PME)

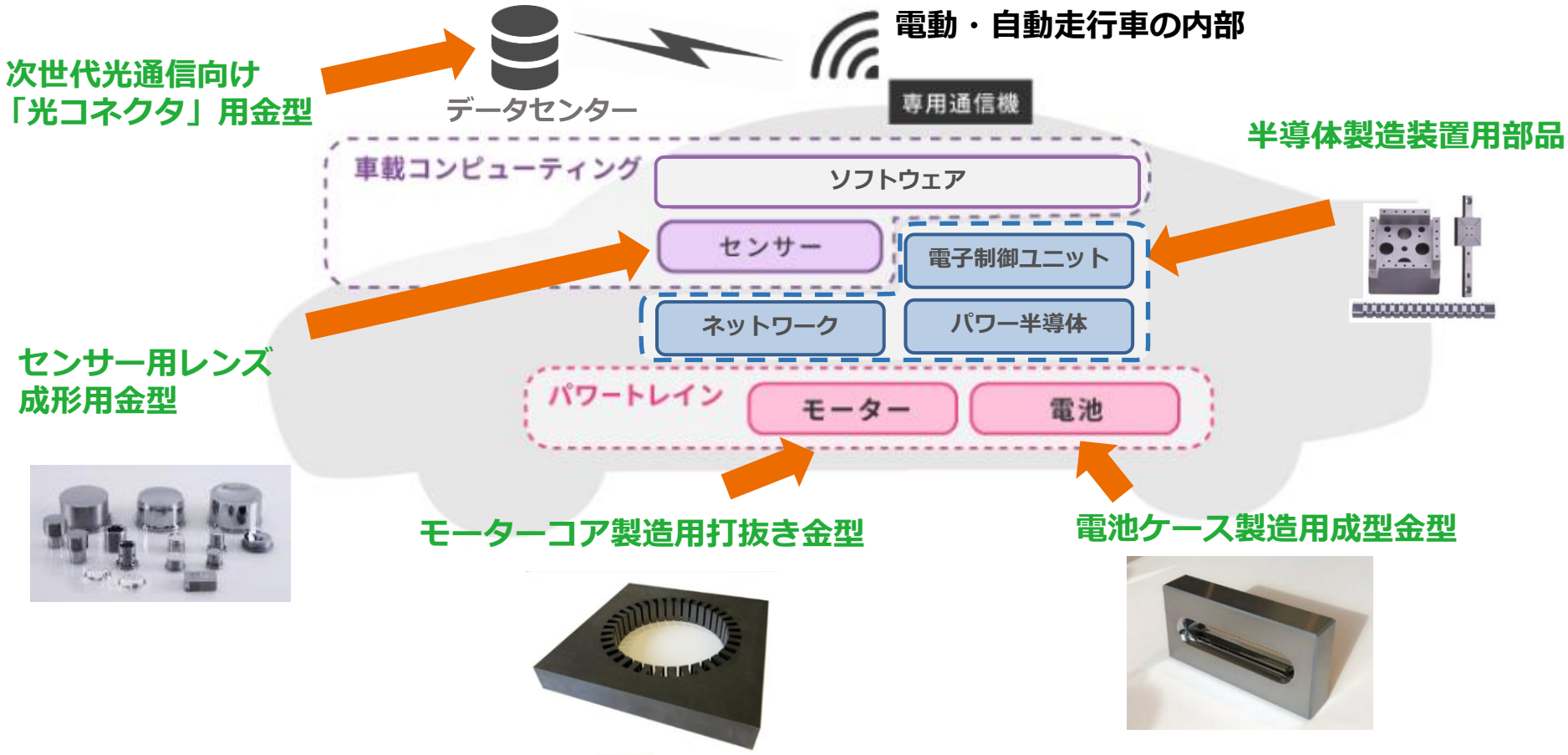
- **水の電気分解により水素を生成する装置などに用いられる電極**
- 水の電気分解による水素製造の際、**必要な消費電力を従来比20%削減**
- 触媒はカルシウム、銅及び鉄の酸化物（**貴金属フリー**）

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

成長分野と富士ダイスの関係

次世代自動車・半導体・光通信

自動運転向けセンサー用光学部品、次世代光通信分野、半導体製造装置分野に、
当社の工具・金型・素材が貢献



電動・自動走行車の内部　図の引用元：国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）のホームページ

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

ものづくりを支える富士ダイスの製品



上記以外にも、富士ダイスの製品は、鉄道架線・電線などのインフラ設備、
人工ダイヤモンドの製造や新素材の開発など、様々なシーンでものづくりを支えている

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

代表的な製品例

引抜・押出・圧延加工をする工具

輸送用機械、建築材料やインフラ関連の設備等へ使用

当社製品





ダイス・プラグ



ロール

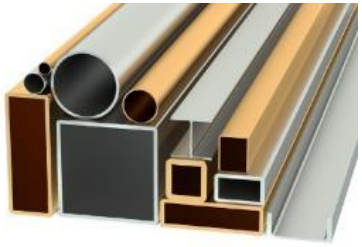
成形部材



パイプ



線材



異形管

最終製品例



エアコンなどの家電



飛行機などの輸送機器



鉄道架線・電線など
インフラ設備

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

代表的な製品例

飲料缶・一般食缶を製造する工具・金型

アルコール飲料や清涼飲料等の飲料缶を作る金型

光学素子を製造する金型

一眼レフ・通信用・監視カメラ・自動運転用カメラセンサーのレンズを生産する金型

当社製品



製缶工具

最終製品例



飲料缶・一般食缶

当社製品



ガラスレンズ成形用金型

最終製品例



監視カメラ



カメラレンズ



自動運転用カメラセンサー

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

代表的な製品例

鍛造用工具・金型

二輪車や四輪車、各種製造機械等の部品を作る金型

高圧工具

人工ダイヤモンドの製造、新たな素材の開発、地球の内部環境研究に用いる工具

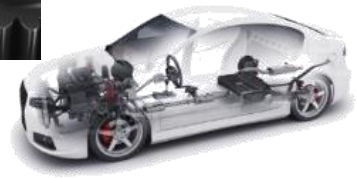
当社製品



鍛造金型

最終製品例





自動車・各種機械用部品

当社製品



高圧工具

最終製品例



人工ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞ・
新素材開発

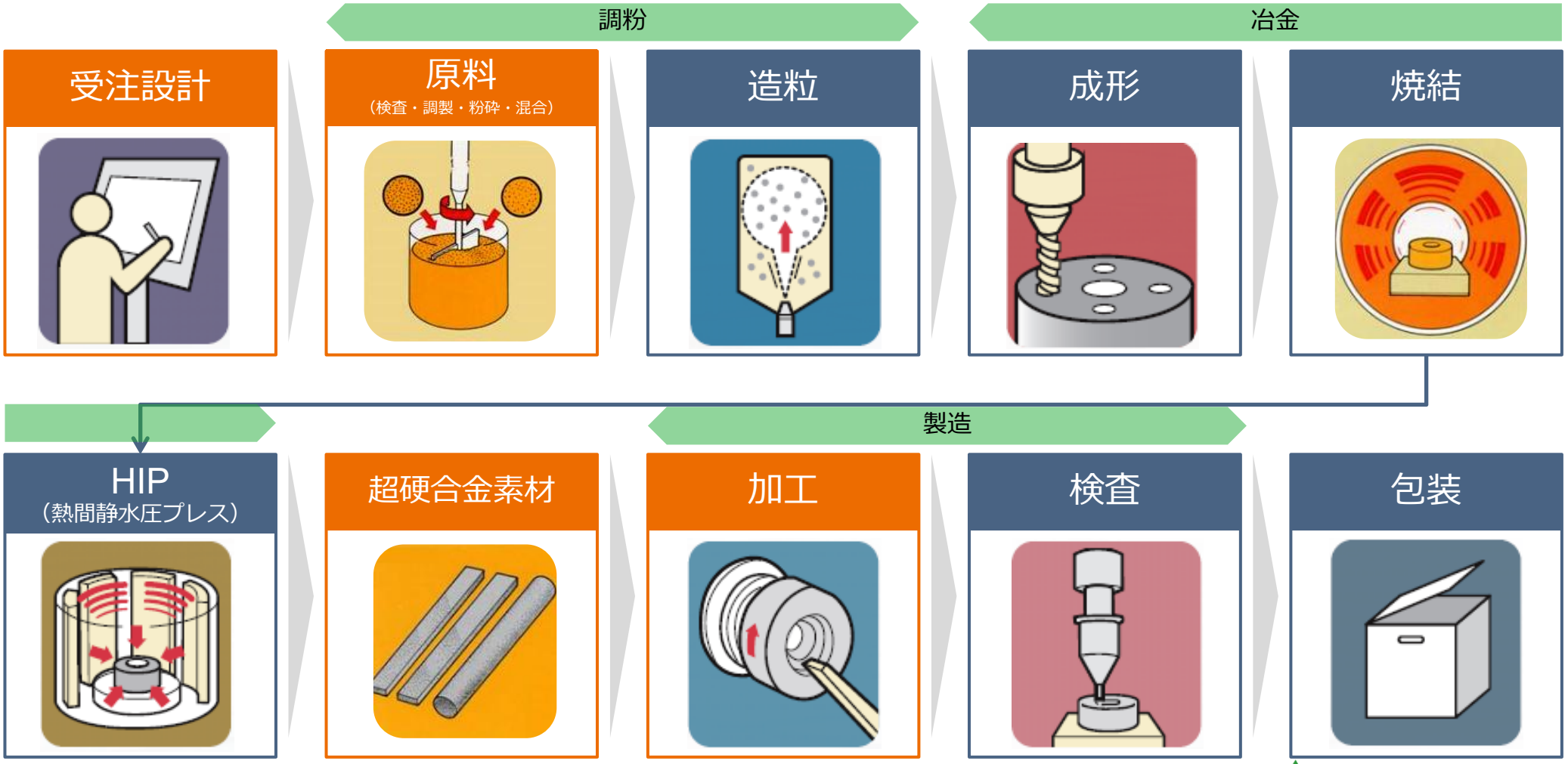


地球物理学研究

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

一貫生産体制により様々なオーダーに対応

- 設計から原料粉末の調製、焼結、機械加工、製品検査まで**一貫した受注生産体制**
- ２つのコア技術、高度な**粉末冶金技術**と**超精密加工技術**により
  様々なオーダーに対し**柔軟に対応**が可能（多品種・少量生産）

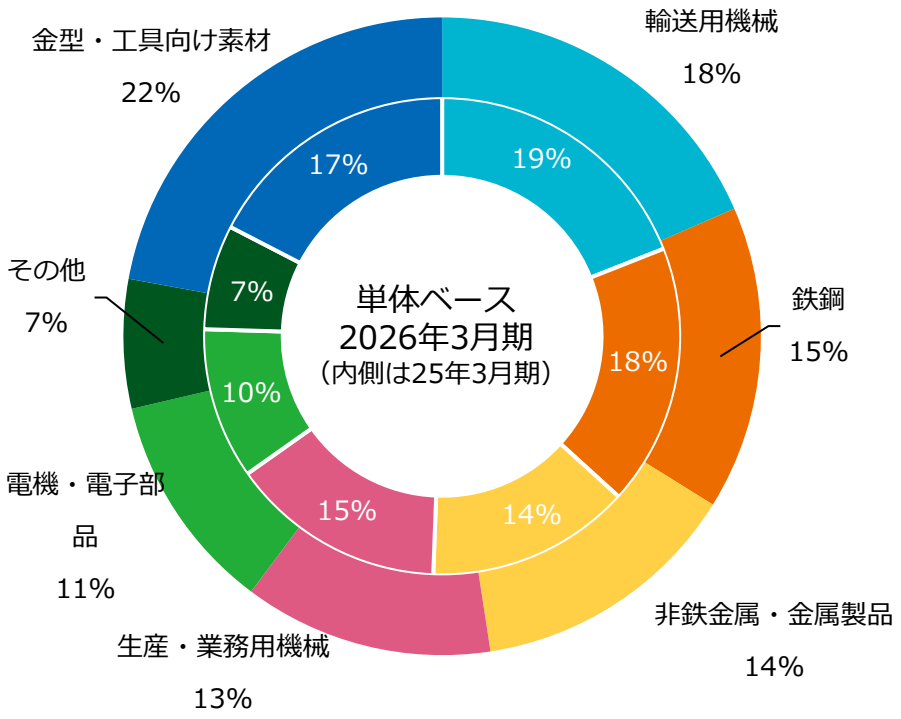


© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

受注生産・直販体制、取引先は約3千社に上る

少量多品種の顧客毎のカスタムメイドの受注生産・直接販売を行う
顧客との強固なネットワークにより、取引社数は約3千社、業種も幅広い
特定の業界動向に影響されない安定性が強み

【顧客産業分類区分売上構成(%)】



【営業・生産拠点（2026年3月末時点）】

【国内】
- ●生産・営業拠点　5ヶ所
- ●生産拠点　2ヶ所
- ●営業拠点　5ヶ所

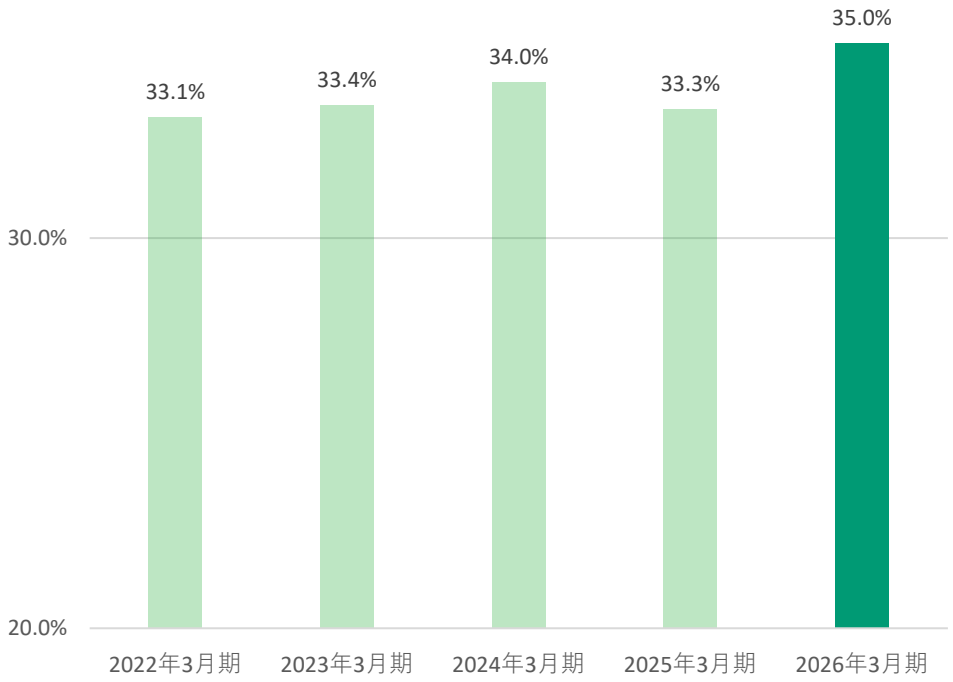
【海外】
- ●生産・営業拠点　2ヶ国
  タイ・インドネシア
- ●営業拠点　3ヶ国
  中国・マレーシア・インド

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

耐摩耗工具専業国内トップメーカー

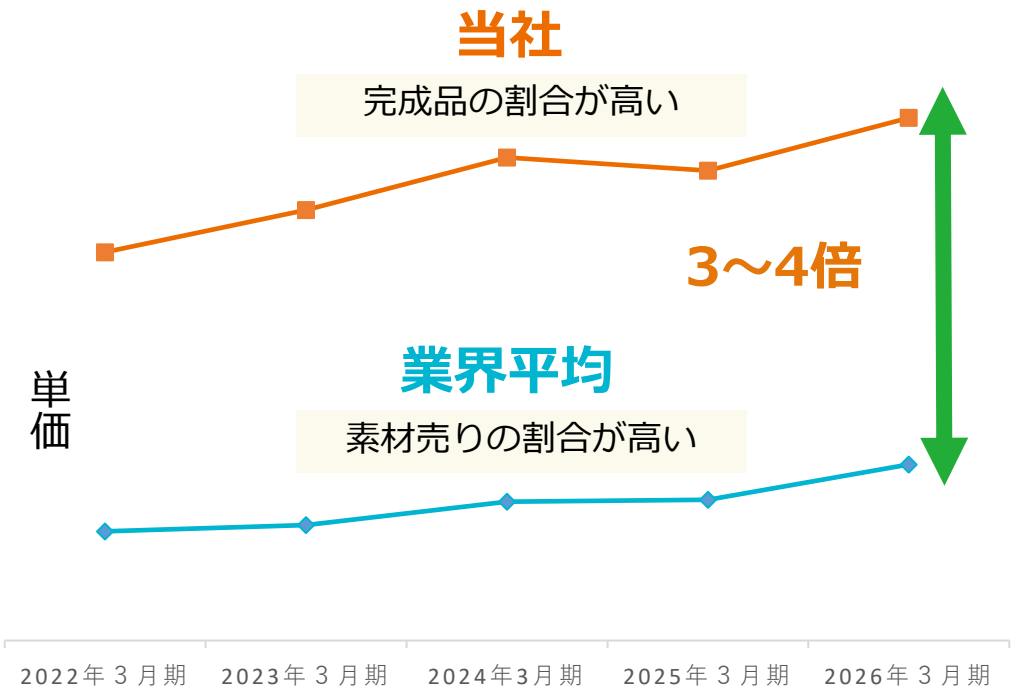
国内超硬耐摩耗工具業界で当社は長期に亘り、トップシェア（30%超）を堅持
少量多品種の高付加価値製品の販売が主で、販売価格は安定して推移

超硬耐摩耗工具・国内出荷額シェアの推移



※2021年3月期は新型コロナウイルスの影響が大きいため除外

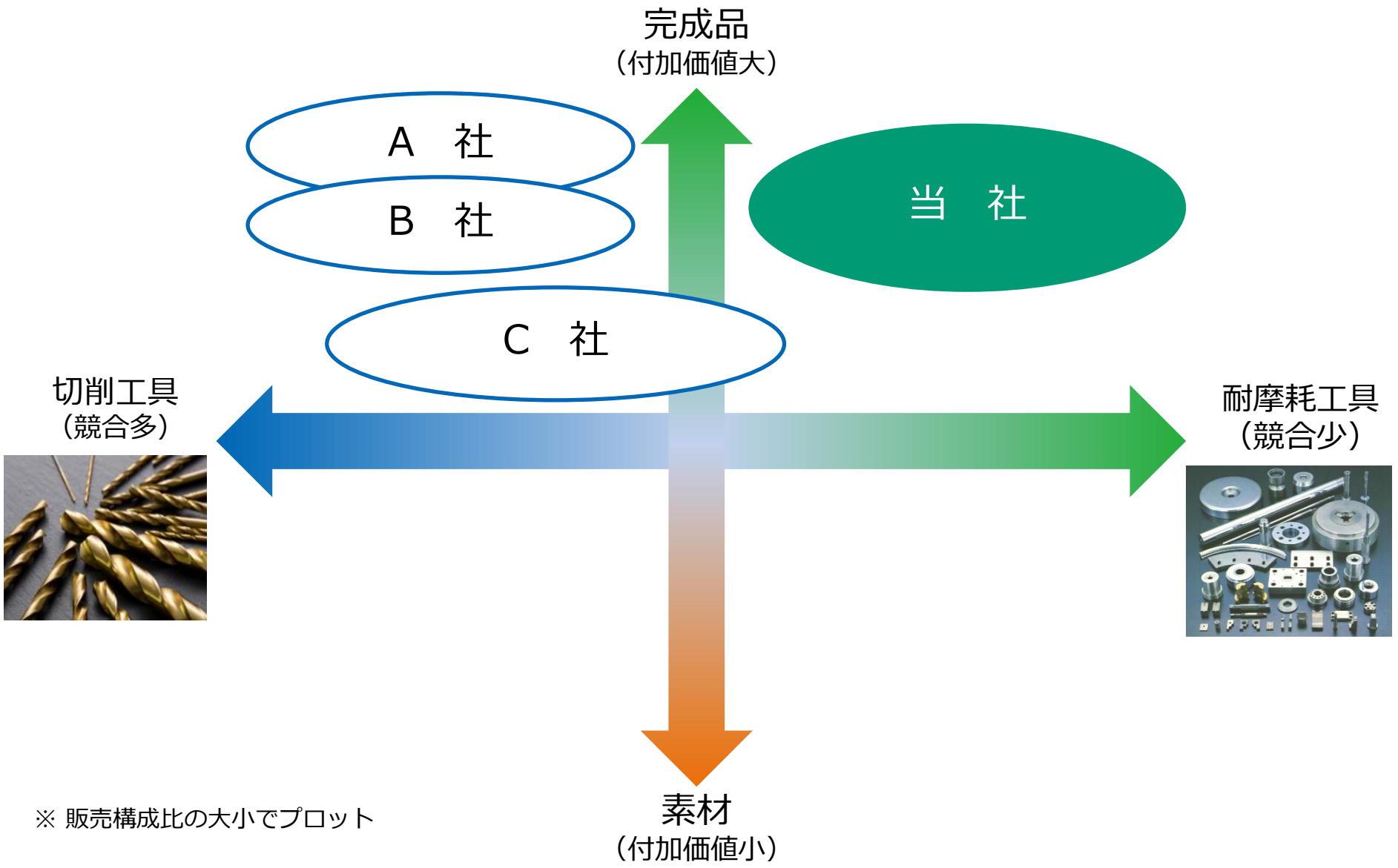
製品の平均単価の推移



出所：日本機械工具工業会

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

工具業界 ポジショニングマップ（上場企業）

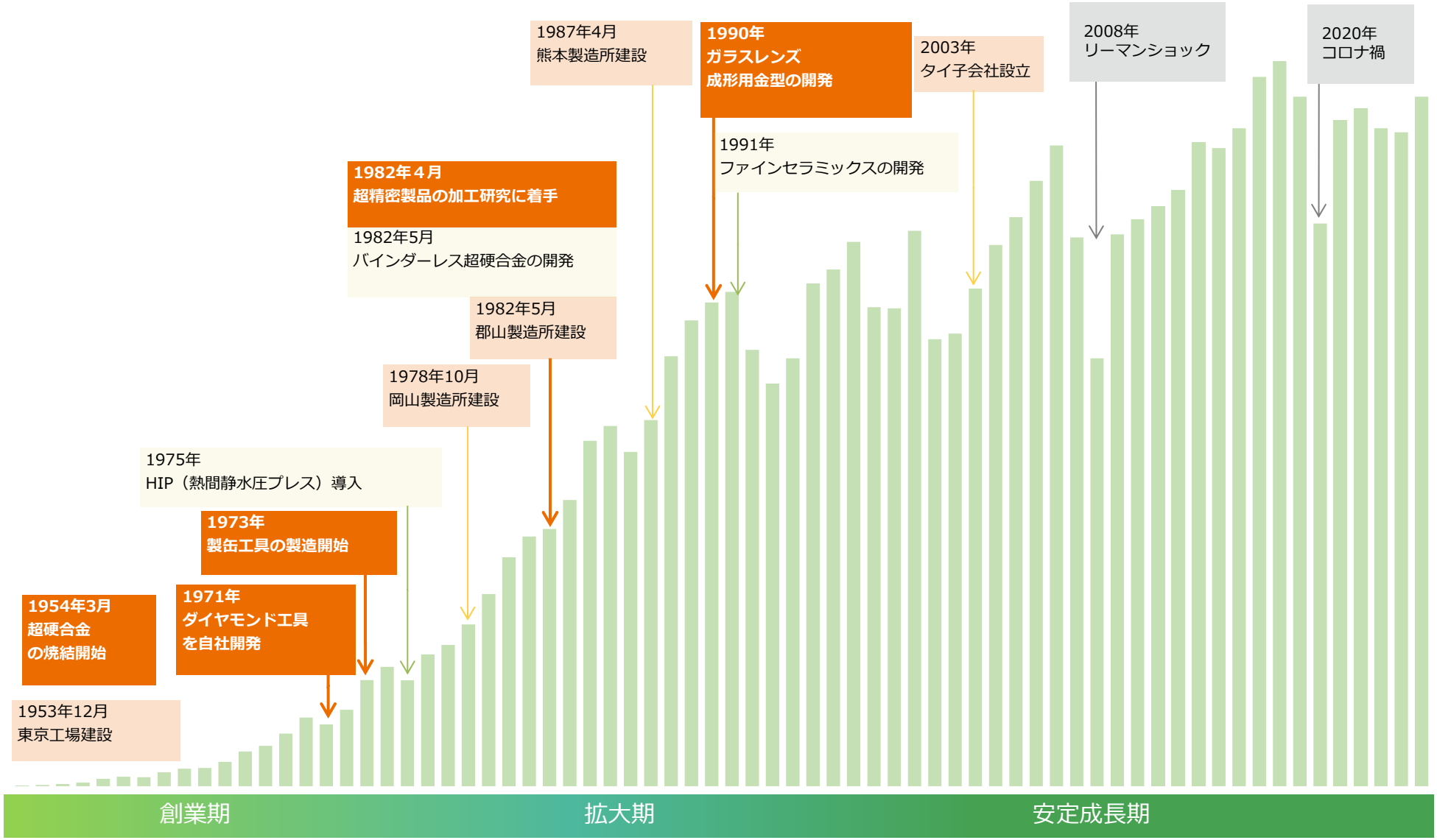


※ 販売構成比の大小でプロット

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

主な沿革と売上高推移

創業以来、黒字経営を継続



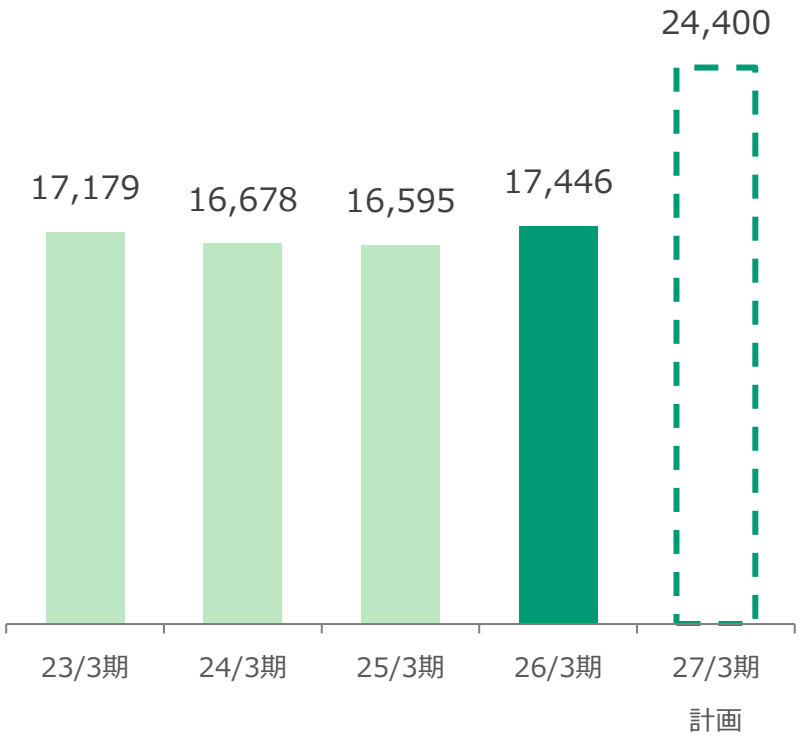
（注）2012年度以降は連結売上高

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

業績の推移　1/3

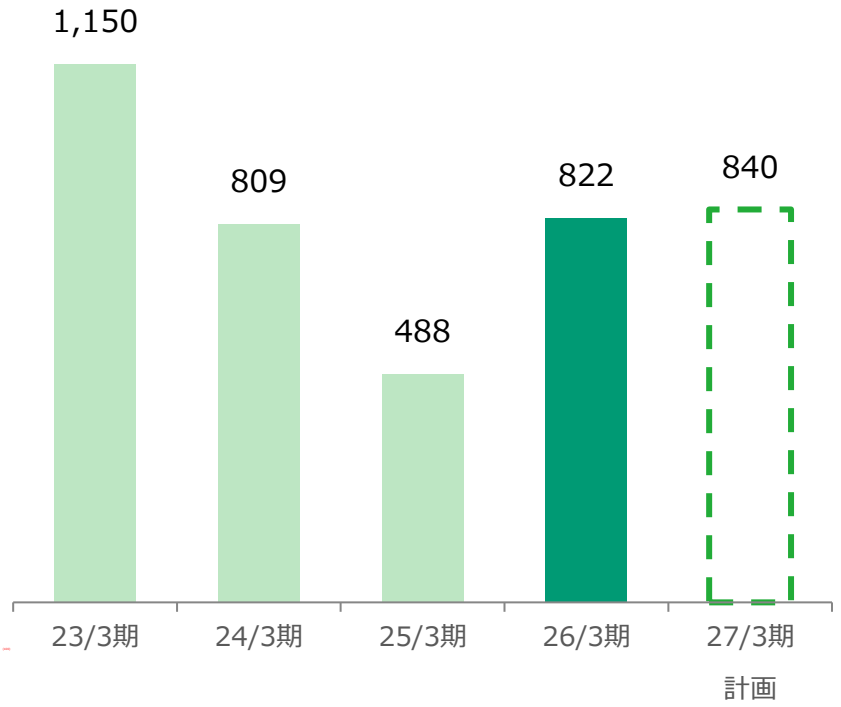
売上高

（百万円）



営業利益

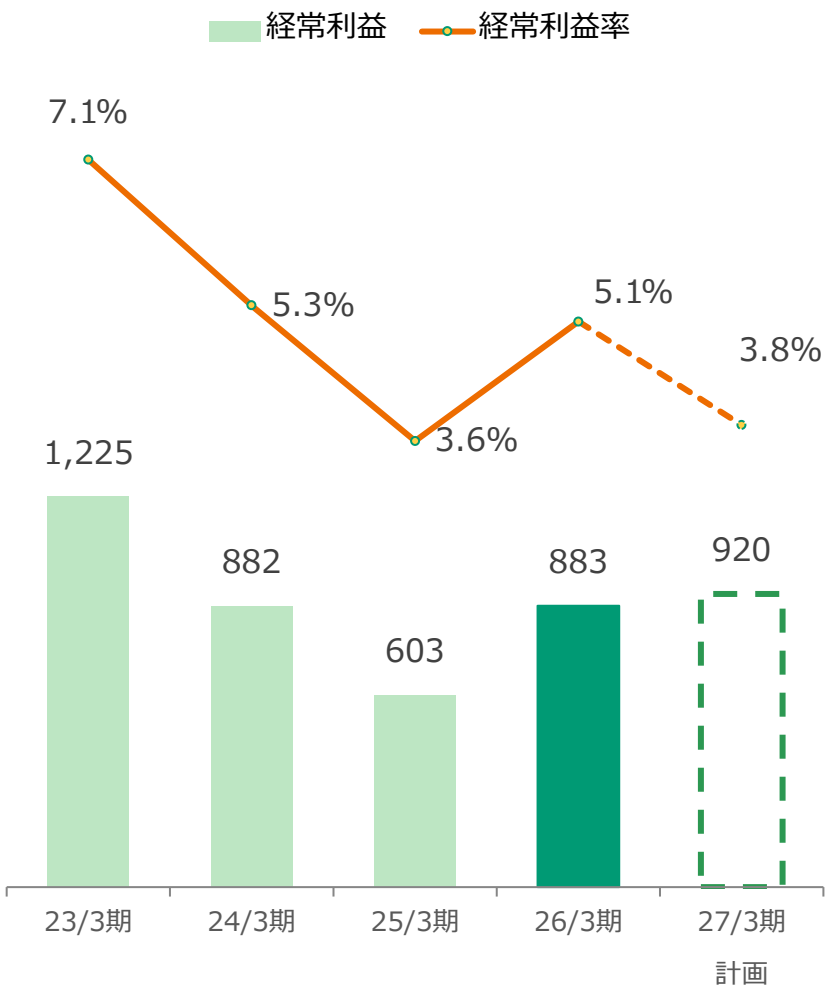
（百万円）



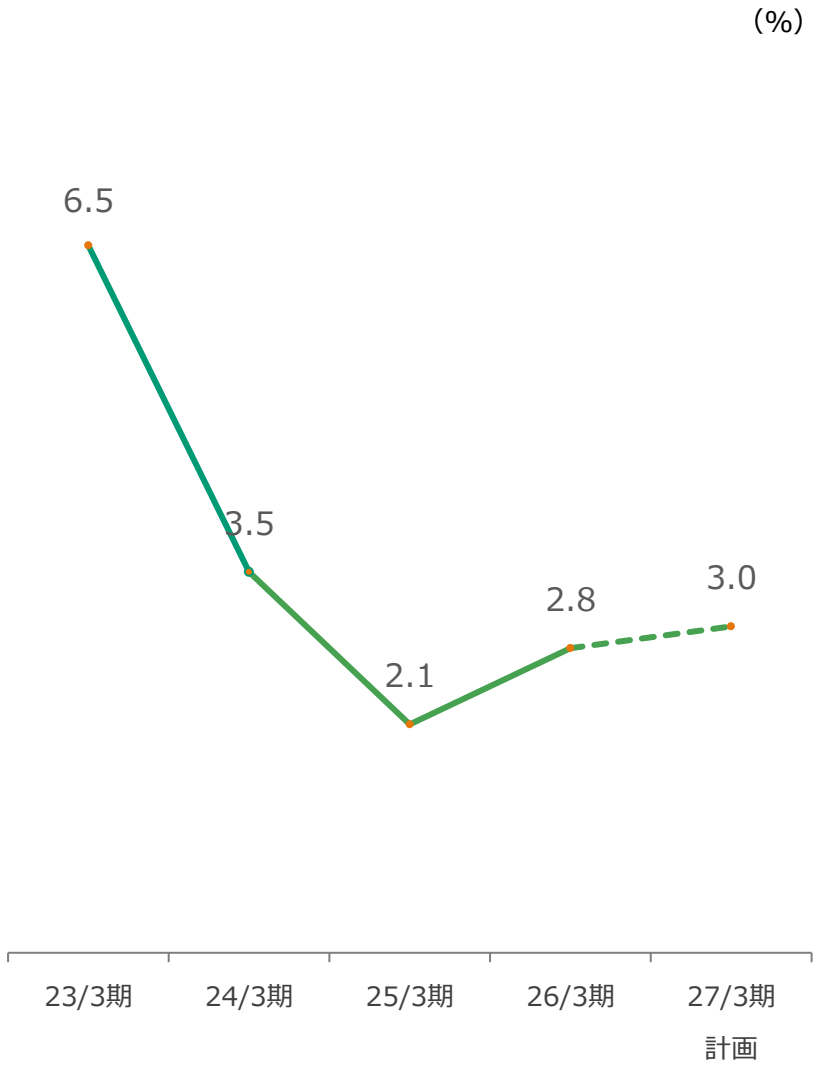
© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

業績の推移　2/3

経常利益



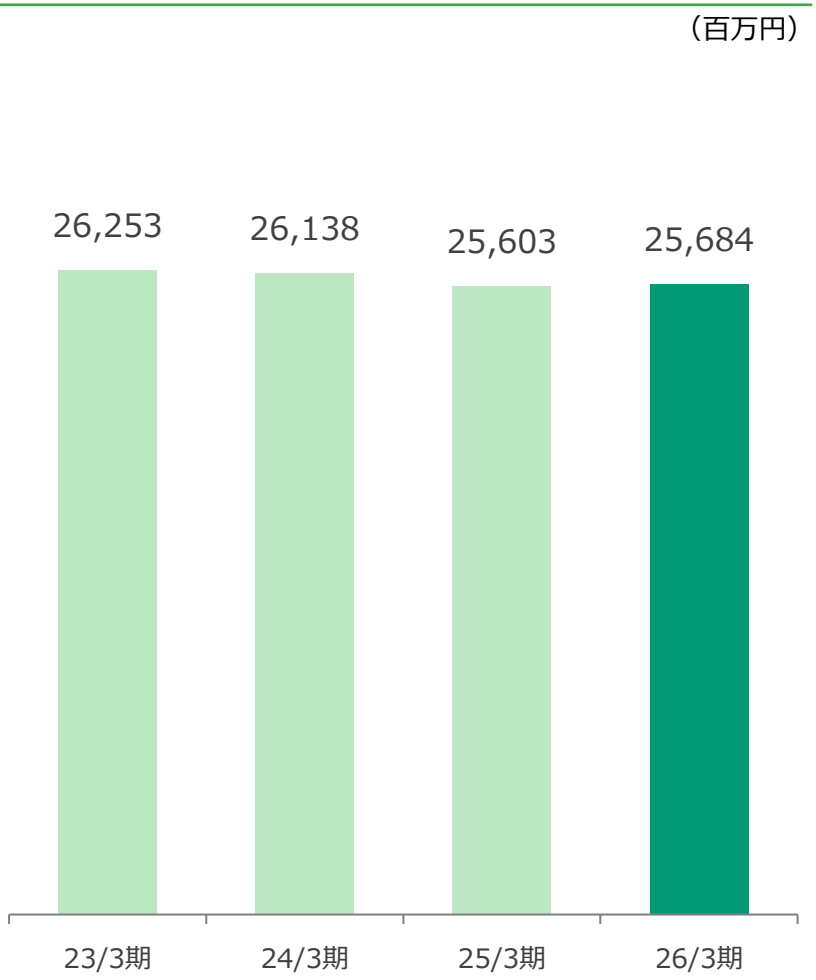
ROE



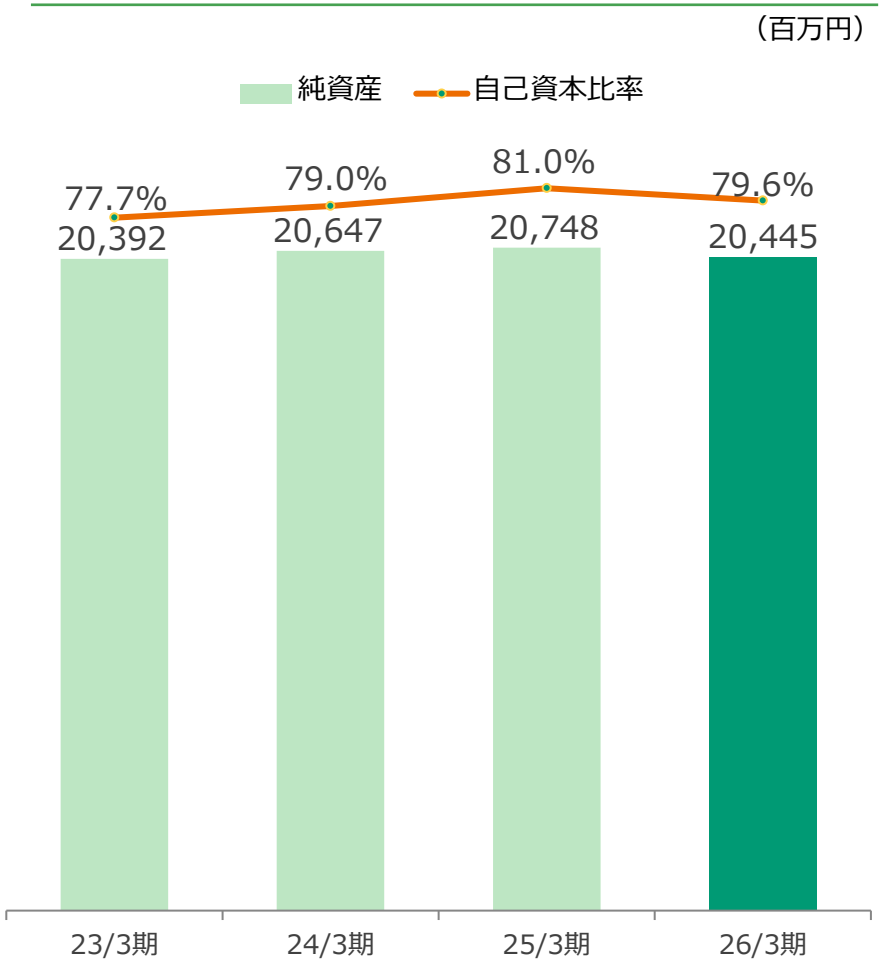
© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

業績の推移　3/3

総資産

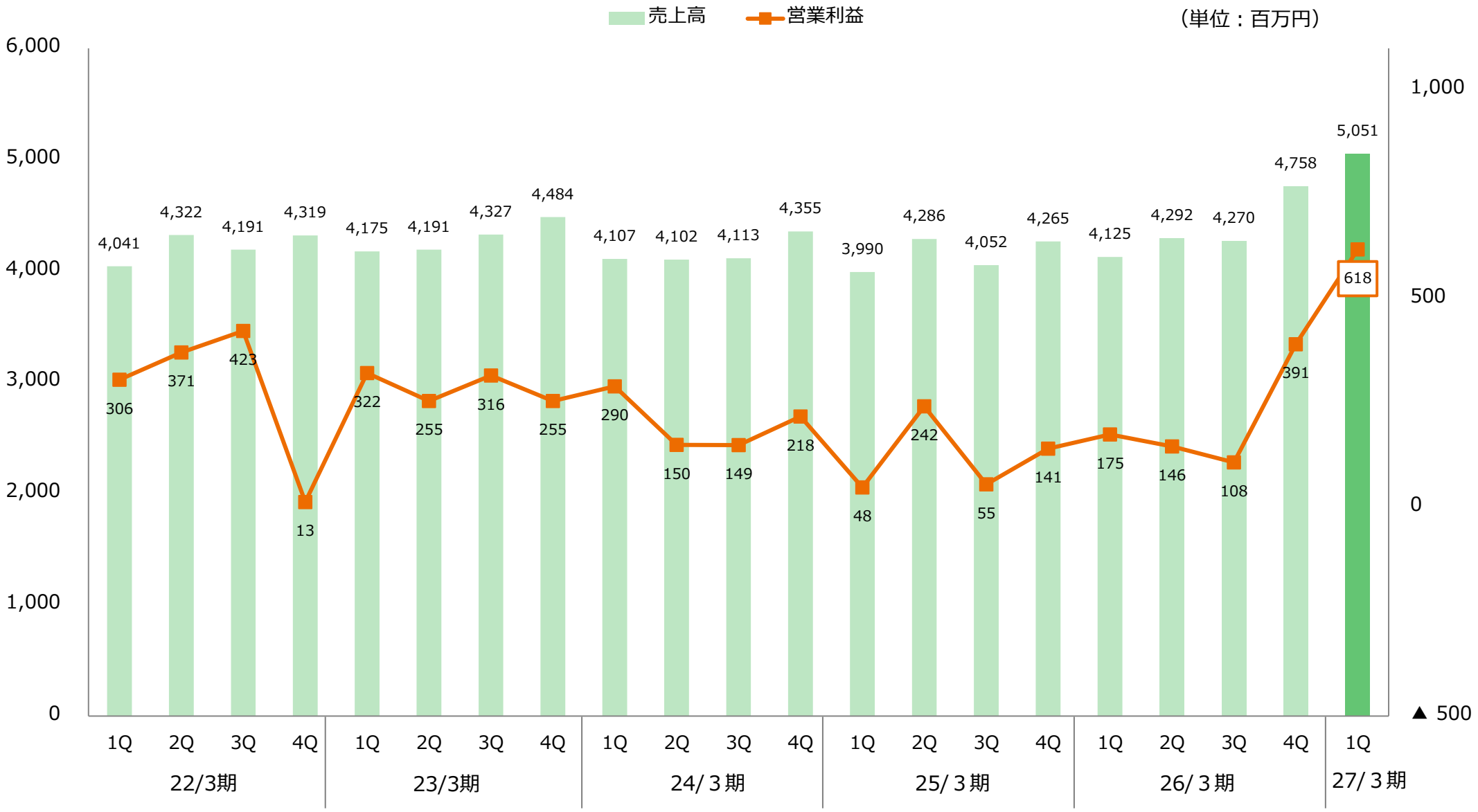


純資産



© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

連結四半期業績推移



© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.

免責事項について

当資料は、富士ダイス株式会社の現状をご理解いただくことを目的として、作成したものです。当資料に記載した内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成しており、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。

　また、当資料には見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものがあり、当資料に記述されている内容とは異なる結果を生ずる不確実性（市場、金利、為替の変動といった国内外の経済状況等）が含まれております。 今後、新たな情報や出来事等が発生した場合、当社は本資料の更新・修正を行う義務を負うものではありません。 投資に関する決定は、利用者ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

　尚、情報の掲載には細心の注意を払っておりますが、情報の誤りや改ざん、データのダウンロード等で被ったいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。

© Fuji Die Co., Ltd. All Rights Reserved.